OE33

305458

□要

□明

OE33□、バレット食道に関連する原発腫瘍から樹立されたヒト食道腺癌細胞株である。この細胞株 □、食道腺癌の分子生物学や治療反応、特にバレット食道からの進行に関する研究において広く利用されている。 OE33□、発生率が増加傾向にあり、進行期で □予後不良とされるこのがんの病因を理解するための適切なモデルを提供する。
OE33細胞□上皮様形態を示し、標準的な培養条件下で付着性増殖を行う。この細胞株 □´p53やHER2/neuシグナル伝達など、腫瘍形成に関与する変異や制御異常を伴う経路を含め、食道腺癌に典型的な分子的特徴を備えている。 OE33□´HER2/neuや、がんの進行および耐性に関与するその他のシグナル伝達経路を標的とした治療介入に対する細胞応答を調査するのに特に有用である。また、この細胞株 □、腫瘍細胞とその微小環境との相互作用、ならびに転移や免疫回避のメカニズムを研究するためのツールとしても機能する。
前臨床研究において、OE33□、食道腺癌の予後改善を目的とした化学療法、標的療法、および新規治療法の併用療法の有効性を評価するための薬剤スクリーニングに広く用いられています。さらに、この細胞株□、異種移植モデルにおいて、生体内での腫瘍形成能や治療反応を評価するためにも使用されています。 OE33の臨床的意義と分子的特性 □、食道腺癌に対する理解を深め、この侵襲性の高い疾患に対する効果的な治療法を開発する上で、極めて貴重なリソースとなっている。

ティッシュ	食道
病気	腺癌

同義語

- OE-33
- JROECL 33
- JROECL33
- OEC33

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様

識別子

引用

OE33（Cytion カタログ番号 305458）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0471

発現と感受性

変異プロファイル

変異：TP53、単純型、p.Cys135Tyr (c.404G>A)、未特定

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

ウイルス

EBV陰性、HBV陰性、HCV陰性、HIV-1陰性、HIV-2陰性、HPV陰性、HTLV-I/-II陰性、MLV陰性

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.1mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	EDTA（ストック：0.05%）とトリプシン（ストック：0.1%）の1：1混合液、Ca2+とMg2+を含まないPBSを用いて細胞を剥離する前に毎回調製し、生理的浸透圧にする必要があります。すぐに使用できるトリプシン/EDTA混合液、細胞の塊になる可能性があるため、推奨されません。別の方法として、トリプシン/EDTAの代わりにTrypLE Express（Life Technologies社製）を使用することもできる。製造元のプロトコールに従ってください。

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで3-5ml、T75フラスコで5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで1-2ml、T75フラスコで2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	2-4×10^4/cm²
流体の更新	週1～2回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

寄付者

ドナーの年齢	73年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB